

【評価対象年度 2020年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市大賀藕絲館		
施設概要	【所在地】 町田市下小山田町3267番地 【開設年月】 1990年4月 【開館日時】 月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時まで 【敷地面積】 2348.43㎡ 【建物面積】 1064.32㎡ 【建物構造】 鉄筋コンクリート造2階建て		
設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、自立した日常生活又は社会生活の実現を図るため		
設置根拠法令・条例	町田市大賀藕絲館条例		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
施設ホームページURL	https://machida-ikuseikai.net/service/ohgagushikan.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番1		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)障害者総合支援法に規定する生活介護及び就労継続支援に関する事業の実施 (2)町田市大賀藕絲館の施設及び設備の維持管理に関すること (3)ハス等及び紅花栽培管理に関すること (4)その他市長の指定した業務		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
職員の人材育成、支援知識の向上を図るために研修に参加する。	2023年	常勤職員全員がインターネットを使用した研修に取り組むことができた。
利用者の健康管理に努める。歯科治療、健康診断、インフルエンザ予防接種等の機会を設け、前年の人数を上回るよう受診を促していく。	2023年	前年より多くの利用者が受診することができた。(歯科治療21名・健康診断35名・インフルエンザ予防接種30名)
利用者への工賃支払いにおいて、夏季、冬季の年2回の手当て支給を行う。	2023年	就労収益が低く、夏季手当は支給できなかったが、冬季と年度末の2回の手当てを支給した。

3. 昨年度の課題

内容	利用者の高齢化や障がいの重度化など、個々の特性や状態に対応した支援が求められる。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>B</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	職員の育成において、支援の質や専門性を高めるための実習・研修受講を行った結果、2021年度から福祉専門の有資格者の配置が増加し、重度障害者支援加算の対象となる等、手厚い支援体制の構築につながった。 また、利用者個々の特性に対応するため、利用者自身が作業を選択・提案できる機会を設け、得意な能力を活かす作業を提供した点は評価に値する。 新型コロナウイルス感染拡大により製品の販路・売上が減少する事態となったが、SNSを活用した情報発信やインターネット販売、製品の配達等、収益維持のための努力がみられた。利用者の平均通所率は就労継続支援B型で86.7%、生活介護で91.6%と高い水準となった。 新型コロナウイルスの影響で回数減少した余暇活動・行事については、実施を求める利用者が多くいたことから、今後は状況に応じて活動の内容を工夫し、充実させていくことが課題となる。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者にマスク着用、手洗いの仕方、こまめな消毒など、感染症対策のための生活習慣を整えた。また、緊急事態宣言等の発令中でも継続して運営を行うため、利用者の分散通所や時間短縮などに取り組んだ。分散通所や時間短縮の通所を通して、生活リズムの維持、日中の作業提供や生活支援が必要不可欠であり、利用者にとっての通所施設の役割を、保護者や利用者、職員が改めて見直す機会となった。 感染症予防の観点から、余暇活動や販売活動など様々な活動が中止や縮小となった。施設での活動自粛が多かったため、利用者から旅行や出店を希望する声が上がリ、ニーズ把握にもつながった。感染症流行時でも形を変えながら、行事を実施することが課題となった。 利用者の障がいの重度化を見込み、専門的な支援の向上をはかるため強度行動障害支援者養成研修を受講した。足腰や体調の不安を抱える利用者が増え、通所時の送迎を希望する利用者が年間5名増加したため、新たな送迎車両を導入しニーズに対応した。	

## 【評価対象年度 2020年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2021年2月9日～3月9日 <b>【調査対象者数】</b> 生活介護23名 就労継続支援B型38名 計61名 <b>【回答者数】</b> 51名 <b>【回収率】</b> 83.6% <b>【調査方法】</b> 利用者の通所状況に合わせて、アンケート用紙を手渡しまたは郵送。回収方法も同様。
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	80%	86.3%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	80	80	80	80	80
実績値	79.2	86.3			

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
研修計画の目標達成度 (各職員が研修受講の年間計画と目標を設定。年度末に目標達成度を数値化し平均値を記載)	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	70%	72%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	70	70	75	75	80
実績値	75	72			

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
利用者会議開催回数	A:12回以上 B:6回以上～11回以下 C:5回以下	12回	10回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	12	12	12	12	12
実績値	11	10			

指標4	評価基準	目標	結果	評価	
余暇活動(クラブ活動)の実施	A:12回以上 B:6回以上～11回以下 C:5回以下	10回	6回	B	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	10	10	10	10	10
実績値	9	6			

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
<b>B</b>	全利用者を対象にした満足度調査においては、満足と回答した割合が2019年度より上昇し、目標値を達成している。 研修計画については、通常の研修の多くが新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり、実績値は下がった。しかし代替研修として、障害福祉サービス支援者専門のオンライン研修を取り入れ、短時間で多くの職員が受講できるように取り組んだことで、目標値は上回っている。 利用者会議や余暇活動は、緊急事態宣言下において通所者が減少したことや外出・行事を中止したことから回数は減少したが、年間を通して定期的・継続的に実施できている。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

## 【評価対象年度 2020年度】

### 6. 業務履行状況の確認

#### (1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	全利用者の特性に応じた平等なサービス提供	個別支援計画の作成	4月に個別支援計画策定、10月に中間見直し、3月に総括を行ったことを個別支援計画書にて確認した。	適
	第三者評価の受審	年1回の受審	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部の評価機関が施設に出入りする第三者評価は実施できなかった。施設独自の評価として利用者・家族へのアンケートを実施したことを調査結果報告書にて確認したため、評価は適とする。	適
施設の運営方針・管	法人本部との運営会議の実施	年間6回以上の会議開催	経営会議21回、運営会議6回を実施したことを会議資料にて確認した。	適
	適切な管理方針の提示	各種設備点検の実施	昇降機設備保守点検(月1回)、空調設備保守点検(年2回)、消防設備機器保守点検(年2回)、自家用電気工作物保管管理点検(2カ月に1度)、貯水槽清掃点検(年1回)を行っていることを各種点検報告書にて確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規程の整備	整備済みの情報公開規程を確認した。	適
	個人情報の適切な取扱	書類の施錠保管 データのパスワード設定	個人情報がある棚には施錠管理、データ上での個人情報はパスワードが設定されていることを確認した。	適
要望対応	利用者、家族からの要望を聞く場の設置	年1回以上の保護者会の実施	会議資料にて年2回(9月・3月)開催したことを確認した。	適
	要望・苦情対応記録	記録の作成 職員ミーティングでの共有	報告書への記録、職員間での情報共有が行われていることを苦情報告書及び職員会議資料にて確認した。	適
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練の実施(年3回以上)	訓練記録書にて、防災訓練を3回実施したことを確認した。	適
	賠償への対応	各種保険への加入	団体総合生活補償保険、介護保険・社会福祉事業者総合保険、傷害保険に加入していることを保険証書にて確認した。	適
人的安定性	職員研修	研修受講12回以上	研修受講62回。常勤職員全員が研修を受講し、2ヶ月に1度、非常勤職員も施設内の動画研修に参加したことを研修報告書にて確認した。	適
	人員配置	法律上の人員配置基準(2020年度 就労継続支援B型/利用者7.5人に1人、生活介護/利用者2.5人に1人)	勤務体制表にて常勤換算を確認した。 就労継続支援B型6.2(利用者4.9人に1人) 生活介護8.7(利用者2.3人に1人)	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減	節水節電等経費の削減	電気使用量+2.8% 上下水道-6.9% 都市ガス+17.9% エネルギー使用集計表にて確認した。	適
	経費の適正執行	価格情報を把握し、適正な価格での購入	先の活動予定から必要になる物資を事前に確認した上で計画的にまとめて購入する等の経費削減の努力がされていることを、ヒアリングや納品書にて確認した。	適
地域貢献	地域貢献	可能な限りの職場体験や実習受け入れ	16名の実習生、延べ310名のボランティアを受け入れたことを業務日誌にて確認した。	適
	地域、関係機関との交流や協力	地域や関係機関との交流・協力24回以上の実施	施設周辺の地域清掃を行ったほか、近隣の保育園や特別支援学校に22回出店し、施設見学19団体を受け入れたことを、職員会議資料にて確認した。	適

【評価対象年度 2020年度】

利用者支援	安定的な工賃の支給に向けた取組み	職員間での作業目標の設定	職員共通の目標を設定し収益維持のための取り組みを行うほか、職員面談時における目標の振り返りを実施したことを、事業報告書にて確認した。	適
	利用者の特性に応じた作業の提供	利用者各々に合った作業内容の検討実施	フロア会議にて利用者の作業や生活支援の内容の共有、帰りの打合せ時に利用者の翌日の作業予定を共有していることを業務日誌にて確認した。	適
	送迎事業の実施	希望者全員の送迎	年度中、新たに希望した5名全員が送迎利用を開始した。送迎者一覧表及び給付費請求明細書にて確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2021年3月11日、3月24日に現地でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2021年3月11日に現地でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、事業報告書ならびにヒアリング、各種帳票、業務日誌にて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1)公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2019		2020		2021		2022		2023	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	107,600	108,294	109,600	108,777	112,100		114,100		117,300
	利用料金	4,150	3,619	4,150	1,952	4,150		4,190		4,310
	就労支援事業	17,200	19,206	17,400	17,992	17,450		17,750		17,900
	その他	4,701	6,714	4,701	10,082	4,721		4,736		4,756
	施設整備費	0	591	0	0	0		0		0
	財務活動	0	2,465	0	454	0		0		0
	計	133,651	140,889	135,851	139,257	138,421	0	140,776	0	144,266
支出	人件費	69,768	77,856	72,318	76,100	74,568		77,218		80,218
	維持管理経費	23,456	23,919	24,095	19,572	24,215		24,215		24,005
	就労支援事業	17,200	16,803	17,400	15,839	17,450		17,750		17,900
	その他	850	706	850	504	850		850		850
	施設整備費	0	1,486	0	295	0		0		0
	財務活動	17,130	8,677	16,785	22,624	16,893		17,785		18,855
	計	128,404	129,447	131,448	134,934	133,976	0	137,818	0	141,828
総計(収入-支出)	5,247	11,442	4,403	4,323	4,445	0	2,958	0	2,438	0

(2)指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	3.0	8.3			
負債比率	26.8	26.0			

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	2020年度は職員の残業削減が図られ、人件費支出は2019年度より抑えられている。また、感染拡大時も在宅支援を実施できたことで、利用料金収入は減少したものの障害福祉サービス報酬としての指定管理料収入は維持している。当期決算収支は4,323千円とほぼ予算どおりとなり、安定した運営ができています。